

# TRAFFIC SCOPE

「TRAFFIC SCOPE」は交通参加者の行動観察を通じて、ドライバーやライダー、自転車利用者、歩行者に守るべきルールがあることを再認識してもらうための連載記事です。

交通参加者の行動を観察する

## ゾーン 30 プラスの区域内を走行する車両を観察する

### DATA 基礎情報

ゾーン 30 に物理的デバイスを組み合わせて生活道路の安全を確保

ゾーン 30 プラスとは、最高速度 30km/h の区域規制や一方通行等の交通規制を実施するとともに、ハンプなどの物理的デバイスを適切に組み合わせることで、生活道路における歩行者等の安全な通行を確保する対策である。全国 33 カ所の地区で整備計画が策定済となっている（2022 年 7 月末時点）。

2022 年 8 月、神奈川県内で初めてゾーン 30 プラスに設定されたのが、横浜市南区の大岡小学校周辺地区。鎌倉街道（県道 21 号）と呼ばれる幹線道路に隣接しており、ゾーン 30 に指定されていたが、抜け

道として利用する車両の走行速度が高いという課題があった。「SAFETY MAP※」上にも、同地区内に急ブレーキ多発地点（2020 年版）の表示があり、スピードを出している車両がいたことがうかがえる。横浜市道路局施設課は地元の町内会、小学校、警察が参加する交通安全対策協議会を立ち上げ、安全対策を検討。近隣住民と調整しながら、ハンプや狭さくの設定、「止まれ」の強調表示などの対策を講じた。今回は、ゾーン 30 プラスに設定された大岡小学校周辺地区を走行する車両を観察した。

※日本中を走る Honda インターナビ（双方向通信型のカーナビ）搭載車から通信で送られてくるデータをもとにした急ブレーキ多発地点情報をはじめ、事故多発エリア情報やゾーン 30 情報などを表示。パソコンやスマートフォンで自由に閲覧でき、閲覧者が交通安全上、危険だと感じた場所を投稿することも可能。詳細は以下のホームページ参照。  
https://safetymap.jp/



路面標示や標識でゾーン 30 プラスの区域であることを周知



車両の通行部分の幅員を狭く絞る狭さくを通過するクルマ。横断歩道を渡ろうとする歩行者がいたため一時停止した



大岡小学校の南側の道路は車両を蛇行させて速度を抑制するシグインが設けられている

### WATCHING 観察

9 割以上の車両が交差点の手前で一時停止していた

観察場所 A は交差点手前にハンプが設置された場所。ハンプを通過する際に車両が減速しているか（ブレーキランプを点灯させたか）を観察した。観察時間中に通行した車両（四輪車・二輪車）28 台のうち、減速しなかったのはトラック 1 台のみ。「段差あり」の路面標示があり、ほぼすべての車両がハンプの手前で減速していた。横浜市の資料によると、ハンプ設置路線の

車両の走行速度は設置前の 42.5km/h に対し、設置後は 30.0km/h と、12.5km/h 低下している（ETC2.0 を搭載している車両の走行速度を確認）。

観察場所 B は路面に「止まれ」の強調表示が設置された交差点で、車両（四輪車・二輪車・自転車）の一時停止状況を観察した。観察時間中に通行した車両 195 台中、交差点の手前で一時停止したのは 183 台（93.8%）。このうち 88 台（45.1%）は停止線の手前で止まっていた。一時停止せずに通過した車両は、12 台（6.2%）で、その多くは自転車であった。

### ADVICE アドバイス

安全運転意識を向上させる効果が期待できる

観察場所 A では設置されたハンプでほぼすべての車両が減速しており、観察場所 B では車両の 9 割以上が一時停止を実施していた。観察中、信号機のない横断歩道に歩行者や自転車があると、車両が停止する様子もみられ、ドライバー・ライダーの多

くがゾーン 30 プラスの区域内を走行していることを意識しているように感じられた。横浜市が対策の効果についてアンケート調査を行ったところ、地域住民の 76% が「安全性が向上した」と回答している。ゾーン 30 プラスの普及が進み、認知が広がることで、ドライバー・ライダーの生活道路における安全運転意識の向上を図ることができると考えられる。ゾーン 30 プラスの今後のさらなる拡大を期待したい。

### 観察結果

#### 観察場所 A・B

神奈川県横浜市南区通町および中島町  
観察日 / 11 月 25 日（金）  
観察時間 / 10:00 ~ 11:00  
天候 / 晴れ



#### ●観察場所 A: ハンプ手前での減速状況 (台)

	減速した	減速しなかった	合計
四輪車	18	1	19
二輪車	9	0	9
合計	27 (96.4%)	1 (3.6%)	28

\*自転車の通行はなし



5-1 ハンプは台形状で、通過する際に不快感を与えることでドライバーに減速を促す



5-2 ハンプの手前で減速するクルマ

#### ●観察場所 B: 交差点での一時停止状況 (台) < > は停止線手前で停止した台数

	一時停止した	一時停止しなかった	合計
四輪車	152 <71>	2	154
二輪車	29 <16>	3	32
自転車	2 <1>	7	9
合計	183 <88> (93.8%) <<(45.1%)>>	12 (6.2%)	195

\*2 カ所の合計



6-1 区域内の一時停止場所は「止まれ」が強調表示されている



6-2 停止線の手前で一時停止するクルマ